

GPT-5.6 & ChatGPT Work：知財実務のパラダイムシフトとAIエージェントの台頭

2026年7月、OpenAIはGPT-5.6を基盤とした自律型ワークスペース「ChatGPT Work」を発表。知財実務は、AIが業務サイクルを自律的に回し、人間が戦略的判断を下す「エージェント時代」へ突入。



発明発掘と先行技術調査の自動化
105万トークンの広大なウィンドウで、大量の先行技術と発明提案を一度に比較分析。



明細書ドラフトと中間処理の高速化
AIがクレームチャートを自律生成し、審査官への反論書（意見書・補正書）の初稿を数秒で作成。



人間の役割は「ループの管理者」へ
専門家は作業から、AIが生成した成果物の品質担保と戦略的判断を行うエディターへ移行。

知財実務 ライフサイクルの自律化サイクル

主要AIエージェントの比較と戦略的選択



ChatGPT Work

クラウド完結の汎用型 Microsoft 365と深く統合され、広範なWebリサーチやアプリ横断タスクに強み。



Claude Cowork

ローカル制御の特化型 PC内のファイルを直接操作でき、機密性の高い未公開データの処理においてセキュリティ優位性。



Harvey

法務・知財ドメインの絶対的王者 組織固有の過去データ蓄積する「Vault」機能を持ち、実務に即した高度な推論を提供。

GPT-5.6ファミリーの階層構造とコスト効率

モデル名	ポジショニング	主な適用業務
GPT-5.6 Sol	フラッグシップ	高度な推論、複雑な特許調査、コードリライト
GPT-5.6 Terra	バランス（汎用）	ドキュメント分析、明細書草案作成
GPT-5.6 Luna	高速・低コスト	定型的な要約、ルーチンタスク処理